

日本学術協力財団は賛助会員と助成金・寄付金を拠出いただいた方々のご厚意により運営されています。

目次

- ・ DB『学会名鑑』運用開始について
- ・ 日本学術会議との協力の強化について
- ・ 公開講演会開催に対する支援
- ・ 叢書18の発刊について
- ・ 公益財団法人への移行の検討
- ・ 日本学術会議の動き
- ・ 財団の運営に関するお願い
- ・ 出版物のご案内

データベース『学会名鑑』運用開始について

財団では、概ね3年ごとに発刊していましたが『学会名鑑』をデータベース化する事業を、日本学術会議、独立行政法人科学技術振興機構（JST）と連携して行うこととし、各学術団体の協力を得て作業を進めてまいりましたが、このほど、7月29日にその運用を開始いたしました。ご協力頂いた各学協会の皆様方には、運用開始が遅れまして大変ご迷惑をお掛け致しましたが、今後は、皆様方のご協力を頂き、更に、その内容につきまして充実させてまいりたいと考えております。

なお、運用開始時に調査のご回答を頂いております学協会は、約4割程度でございますが、回答を頂いていない学協会につきましては、回答を頂き次第、四半期ごとに順次掲載させて頂きましますので、早めにご回答下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

また、掲載後に掲載事項の変更がございましたら、当財団宛てお知らせください。掲載事項の変更につきましては、四半期ごとに更新させて頂く予定でございます。ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

本サイトが、各学術団体の皆様のご協力により、更に充実し、多くの研究者や学術団体の方々のお役に立つことを期待しております。

データベース学会名鑑 URL : <http://gakkai.jst.go.jp/>

財団ホームページ <http://www.h4.dion.ne.jp/jssf/> から

アクセスできます。



日本学術会議との協力の強化について

日本学術会議は、7月7日、「日本学術会議の機能強化について」（報告）を公表しました。同報告においては、日本学術協力財団との協力の強化に関し、次のように述べています。

組織体としての日本学術会議の体制強化

7. 関係諸機関・団体との連携方策

(3) 日本学術協力財団との協力の強化

財団法人日本学術協力財団（以下、財団）は、学術の振興を目的とし日本学術会議の活動を広く支援するべく設置され、『学術の動向』および日本学術会議の関連出版物の刊行など、日本学術会議の活動の成果を社会に普及することに大きな役割を果たしている。また財団は、日本学術会議の国際会議、各種講演会、シンポジウムの開催に対する支援も行っている。

財団の財政基盤は、上記の出版事業の収入のほか、賛助会員からの会費収入が中心となっており、賛助会員の拡大が財政基盤の強化のために重要である。会員・連携会員に対して、財団の存在意義と活動を十分に説明し、会員・連携会員が積極的に賛助会員として参加するとともに、科学者コミュニティの内外において財団の活動の理解を広め、支援の輪を大きくすることに努めるように働きかける必要がある。

日本学術会議部会・地区会議の公開講演会開催に対する支援

財団は、日本学術会議が開催した以下の公開講演会について、開催に係る支援を行いました。

【部会の公開講演会】

市民公開シンポジウム「市民社会のなかの人文・社会科学 市民との対話 PART 1」

平成 23 年 7 月 24 日（日）九州大学西新プラザ

主催：日本学術会議第一部、日本学術会議九州地区会議、九州大学

後援：日本学術協力財団

市民公開講演会「光触媒とメカトロニクスの世界：未来を支える科学・技術」

平成 23 年 8 月 8 日（月）東北大学片平キャンパスさくらホール

主催：日本学術会議第三部、東北大学

後援：宮城県、仙台市、日本学術会議東北地区会議、日本学術協力財団

【地区会議の公開講演会】

公開学術講演会「愛媛大学の先端研究 拠点化の歩み」

平成 23 年 7 月 23 日（土）南加記念ホール

主催：日本学術会議中国・四国地区会議、愛媛大学

共催：日本学術協力財団

学術講演会「世界の目から見た日本の大学評価」

平成 23 年 7 月 30 日（土）京都大学芝蘭会館稲盛ホール

主催：日本学術会議近畿地区会議、京都大学

市民公開講演会「グリーンイノベーションと地域社会システム

21 世紀の新たな科学技術と人間・社会の接点を求めて」

平成 23 年 8 月 4 日（木）北海道大学学術交流会館・小講堂

主催：日本学術会議北海道地区会議、北海道大学



学術会議 叢書 18 『科学を文化に サイエンスアゴラ・シンポジウムの記録』 が発刊されました



財団では、毎年、学術図書として『学術会議叢書』を発刊していますが、平成23年度に発刊を予定していましたが『科学を文化に サイエンスアゴラ・シンポジウムの記録』が9月30日に発刊されました。

本書は、日本学術会議科学と社会委員会科学力増進分科会が、一般の方々に「科学」に親しんで頂くために種々検討し、2006年から毎年、テーマを決めて、サイエンスアゴラの中で開催しましたシンポジウム5年間分の記録を取り纏めたものです。

毎年のシンポジウムのテーマ及び出席者は以下の通りです。

なお、この学術会議叢書18につきましては、財団法人一ツ橋総合財団から助成を頂き、全国約1,500の国公立図書館等に寄贈することとしています。

【テーマ及び出席者】

第1回「SFによる科学コミュニケーション」

『日本沈没』を題材に」の概要報告

鈴木晶子

第4回「科学を文化にするために」

潮木守一 / 村山朝子 / 毛利 衛 / 北原和夫 / 本田孔士 / 玉尾皓平 / 柴田徳思 / 室伏きみ子

第2回「新しい『サイエンス・メディア』をデザインする」

早川信夫 / 福原伸治 / 北原和夫 / 毛利 衛 / 鈴木晶子

第5回「科学を文化にするために、

文化を科学にするために」

毛利 衛 / 鈴木晶子 / 北原和夫 / 玉尾皓平 / 柴田徳思 / 廣瀬和子 / 室伏きみ子

第3回「疑似科学とメディア」

池内了 / 毛利 衛 / 長谷川壽一 / 佐倉 統 / 鈴木晶子

公益財団法人への移行の検討

財団では、新公益法人制度の発足に伴い、「新公益財団法人へ移行が可能か」について鋭意検討しています。現在、公益認定等委員会事務局との事前相談を行いながら、内容について事務的検討を行っています。

近く臨時の理事会・評議員会を開催して新公益法人への移行に関する方針等を決定することになります。その結果につきましては、直近のニュースレターでお伝えいたします。

日本学術会議の動き

第161回日本学術会議総会が、平成23年10月3日(月)から5日(水)までの3日間、開催されます。

この総会は、日本学術会議第22期の最初の総会であり、新しい会長が選出され、さらに副会長以下の新役員が決定される予定です。

財団の運営に関するお願い

財団の経営につきましては、主として賛助会員の会費等により運営されてきました。近年、財団の経理状態は、はかばかしくなく、毎年年度末には基本財産の取り崩しも視野に入れて検討し、収支の安定を検討してきました。無論、事務局人件費・経費も大幅に削減し、ボランティアに頼る運営を行っております。毎年年度末には、関係者の寄付金により赤字を回避しているのが実情です。「新公益法人」への移行に当たっても、安定的な事業運営が確保できる財務状況は必須の条件です。このため関係各位におかれましては次の諸点に格別のご尽力をいただきたくお願い申し上げます。

1. 学術会議会員、連携会員、関係者、関連団体の皆様への賛助会員への加入勧誘
2. 賛助会員の会費納入の促進
3. 『学術の動向』購読勧誘
4. 財団に対する寄付金(本年度は非課税にはなりません)の斡旋

お申し込み先

FAX 03-5410-1822

賛助会員は割引があります

月刊誌 学術の動向

’11年8月号 学術における男女共同参画推進の「加速」に向けて

- アンケート結果をてがかりに -

災害・紛争・復興とジェンダー - 人間の安全保障の新天地 -

9月号 新しい高校地理・歴史科教育の創造

- グローバル化時代を生き抜くために -

今、アイヌであること - 共に生きるための政策をめざして -

10月号 これからの大学学部における歴史教育



定価 756 円・送料込
(本体価格 720 円)
年間購読 8,000 円・送料込
賛助会員は無料配布

日学新書

新書版・定価各 787 円 (本体価格 750 円)

賛助会員は割引価格 700 円 + 送料実費

1 スポーツの科学

活力ある社会の実現のために、スポーツの果たす役割はますます大きくなっている。スポーツ科学の歩んできた道を概観し、健康づくり、競技スポーツに役立つ最新的话题を提供する。



2 感覚器 [視覚と聴覚]

と社会とのつながり

ひとの五感のうち、日常生活に最も影響のある「視覚」、「聴覚」の障害と治療について、それぞれの専門家が一般の方々に分かりやすく執筆した解説書。



当財団の運営、ニュースレター等に関するご意見、ご要望がございましたら、当財団総務担当までお寄せください。

今後の参考にさせていただきます。

皆様方のご意見、ご要望をお待ちしています。



財団 Web サイト

URL:

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jsf/>

学術会議叢書

A5 版・定価各 1,890 円 (本体価格 1,800 円)

賛助会員は割引価格 1,700 円 + 送料実費

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 生殖医療と生命倫理 | 12 どこまで進んだ男女共同参画 |
| 2 科学技術教育の国際協力ネットワークの構築 | 13 科学のミスコンダクト |
| 3 男女共同参画社会 (品切れ) | 14 性差とは何か (品切れ) |
| 4 エネルギー学を考える (定価 1,680 円) | 15 医療を崩壊させないために |
| 5 多発する事故から何を学ぶか | 16 食の安全を求めて |
| 6 なぜなぜ宇宙と生命 | 17 ダーウィンの世界 |
| 7 先端科学技術と法 | 18 科学を文化に |
| 8 食の安全と安心を守る | |
| 9 医療事故は予防できるか | |
| 10 今、なぜ若者の理科離れか | |
| 11 舞踊と身体表現 | |



= ご意見、ご要望をお待ちしています =

当財団の運営、ニュースレター等に関するご意見、ご要望がございましたら
当財団総務担当までお寄せください。今後の参考にさせていただきます。

財団法人
日本学術協力財団
〒106-0031
東京都港区西麻布
3-24-20
TEL 03-3403-9788
03-5410-0242
FAX 03-5410-1822